

## 2021年度国際版画美術館事業報告書【展覧会版】

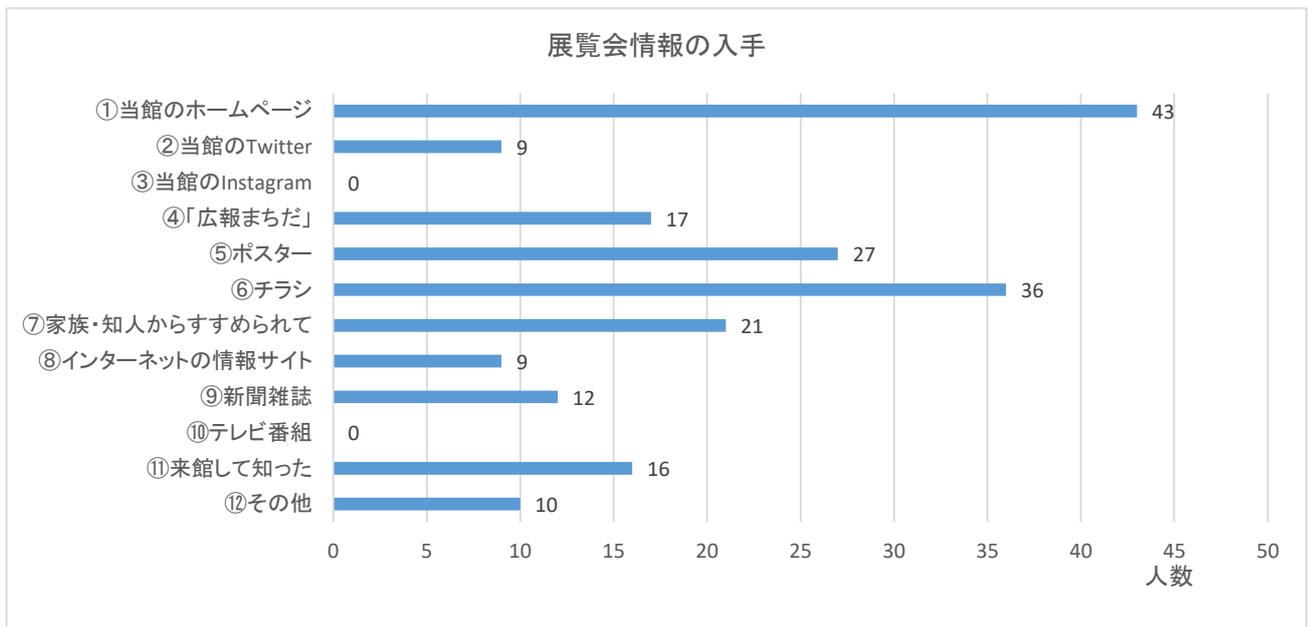
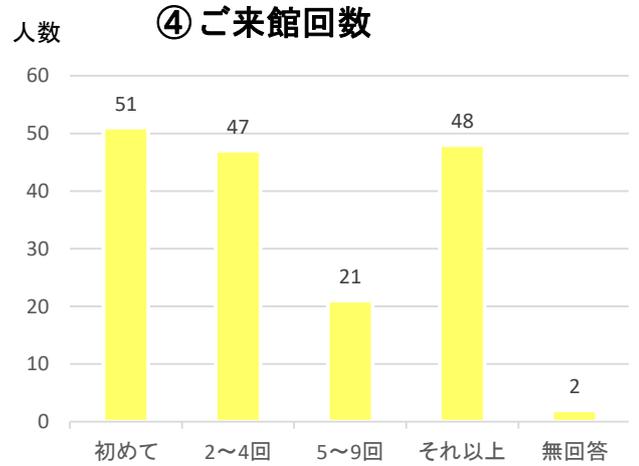
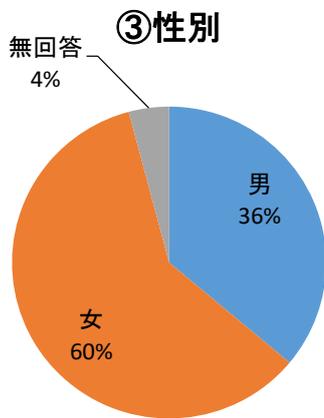
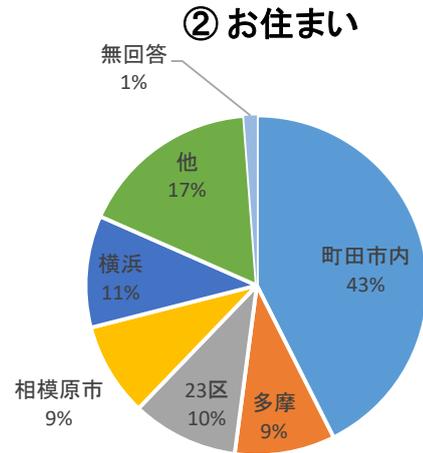
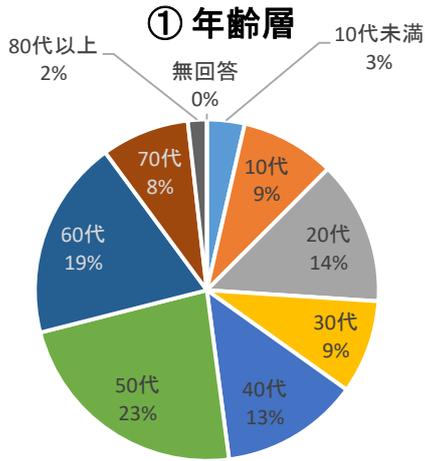
展覧会名	アーティストたちの室内画 —見慣れない日常—			担当者名	高野詩織・町村悠香							
会期	2021年3月13日(土)～4月11日(日)			開催日数	26日							
協賛・後援・協力	なし											
巡回館	なし											
展覧会概要	プライベートな部屋を描いた「室内画」をテーマに、近現代西洋の版画作品約140点を紹介する企画展。近年日本で人気を集めている19世紀末フランスの前衛画家グループ「ナビ派」や、サルバドール・ダリを筆頭とするシュルレアリスム、戦後アメリカのポップ・アートなど、知名度の高いアーティストの名品を中心に、18世紀から20世紀までの室内画の歴史をたどった。											
ねらい・対象	近年は展示機会の少なかった当館の近現代西洋版画コレクションを幅広く紹介することをねらいとした。春休みや花見のシーズンに重なるため、高校生・大学生や日ごろ美術館に足を運ばないライト層を対象に、インパクトのある広報物と簡潔で読みやすい解説文を心掛けた。											
関連催事	催事名	開催日	タイトル	講師等	参加者数							
	記念講演会	3月20日(土)	『密』な世界—モダン・アートにおける室内	天野知香	39人							
	室内楽コンサート1	3月14日(日)	弦楽四重奏	Quartet Paradox	74人							
	室内楽コンサート2	10月6日(日)	サクソ四重奏	ハッピー☆マッキーSAXカルテット	87人							
	ギャラリートーク	3月21日(日)、4月3日(土)	担当学芸員によるギャラリートーク	当館学芸員 高野詩織	18人、12人							
観覧料	一般	大・高生										
	800円	400円										
観覧者数	有料計	無料計	総観覧者数	内、一般	内、大・高生	内、小・中生	内、その他					
	2,698人	898人	3,596人	3,171人	246人	179人	—人					
目標値(新型コロナウイルス感染対策のための目標修正以前の当初目標値)				2104(3040)人								
主な収入	観覧料収入	図録販売収入	受託販売収入	その他の特定財源								
	2,647千円	0千円	6千円	0千円								
事業経費	<ul style="list-style-type: none"> <li>・講師謝礼</li> <li>・展覧会協力謝礼</li> <li>・通信運搬費</li> <li>・作品額装委託料</li> <li>・広告宣伝委託料</li> <li>・ポスター等作成委託料</li> <li>・ディスプレイ作成委託料</li> <li>・ポストカードブック作成業務委託料</li> </ul>			130千円	100千円	496千円	384千円	495千円	776千円	539千円	320千円	3,240千円
主な広報・取材等の講評	【テレビ】J:COM 【新聞・雑誌】東京新聞(3月28日「カジュアル美術館」欄)、月刊ギャラリー、美術の窓、ヘイルメリーマガジンほか 【ウェブ】ファッション・プレス、インターネットミュージアム、OBIKAKEほか											

アンケート結果	回収数	回収率	市民率	リピーター率	満足度(とても良かったと良かったの率)		
					企画の内容	展示作品	展示の仕方等
	169 件	4.7 %	43 %	70 %	91.2 %	92.8 %	87.9 %
	主なご意見	別紙のとおり。					
工夫と反省点、改善方法	予備調査	2019年4月から当館の西洋現代版画コレクションについて調査し、展覧会の目玉となる大型作品の候補を絞った。同年10月頃に展覧会のテーマを「室内画」に定め、「プライベートな室内」を中心テーマとする研究書や、当館の過去の展覧会カタログを参照し企画書をまとめた。					
	作品選択	20世紀以降の西洋現代版画を中心に、当館収蔵品から約140点を選定した。パブロ・ピカソ、デイヴィッド・ホックニー等の著名なアーティストの作品と併せて、マイナーな現代作家の良品も紹介するよう心掛けた。西洋の現代作品は著作権料が高額となるため、18～19世紀の著作権切れの作品や、日本の作品を付け加えたことも工夫点である。来館者アンケートでは、特定の作品を当てとするとする来館者が多くいる一方で、これまで当館の展示機会のなかった珍しい作品が見られてよかったという声もリピーターから寄せられた。					
	リーフレット	無料配布のリーフレットをA6判16ページで3000部作成した。著作権保護の観点から展示室内の大部分が撮影不可であること、本展オリジナルグッズが少ないことを考慮し、作品画像を通常よりも大きく掲載し、ビジュアル資料として活用できるようにした。内容、ボリュームともに好評だったが、2020年度秋の収蔵品企画展「西洋の木版画展」と同様に、図録の販売を希望する意見も見られた。					
	広報	普段美術館に足を運ばないライト層にアプローチするために、パトリック・コールフィールドのビビッドな作品をメイン画像に選び、インパクトのあるポスター・ちらしを作成した。アンケートでも好評で、メイン画像をきっかけに初めて来館したというコメントも複数あった。また雑誌やウェブサイトなどプレスからの反応も良く、展覧会の特集記事の中には300超のリツイートで拡散されたものもあった。会期後半にモーリス・ドニの出品作が東京新聞のカラー紙面で大きく掲載されたことも、さらなる観覧者増に繋がった。					
	宣伝	春の特別展に続き、TwitterとInstagramで広告配信を実施した。アンケートではHPやポスター、ちらしが主な情報入手元となっているため、SNS広告の効果については今後見極める必要がある。それでも本展はビジュアル先行のSNSであるInstagramとの相性が特に良く、前回よりも高い広告クリック率で効率よく運用できた。また本展ではSNSのアクティブユーザーである高校・大学生の割合が従来よりも高く、来館者全体の約7%を占めた。任意回答のアンケートでは結果が表れていないものの、SNSによる展覧会周知に一定の効果があつたことが推測される。					
	ディスプレイ	大型作品を効果的に展示するため、作品と作品の間隔を広くとった。300字程度の簡潔な文章を心がけ、解説を付ける作品も厳選したところ、シンプルで要点が分かりやすいと好評だった。ただ、撮影可能作品の案内パネルについては紛らわしいという意見があつたので、より理解しやすい案内を今後検討したい。ハンス・ベルメールの裸体画を含むコーナーは、可動壁とカーテンによるゾーニングを行ったが、特に大きな問題やクレームは発生しなかった。					
	イベント	記念講演会、室内楽コンサート、ギャラリートークを実施した。記念講演会は、近代西洋の室内画に詳しいお茶ノ水女子大学の天野知香教授に出演を依頼した。室内楽コンサートは当初、展示室内で実施することを計画していたが、新型コロナウイルス対策でソーシャル・ディスタンスを確保するために、会場を広い講堂に変更した。ギャラリートークは予定通り展示室で実施したが、ひとつの場所にとどまらないように心がけて実施したため問題は生じなかった。イベントの告知や当日の運営は、担当学芸員の他に2名の職員で分担して効率よく行うことができた。今後の展覧会関連イベントについても、作業を分担する体制を整えたい。					
その他特記事項	<ul style="list-style-type: none"> <li>・リピーター割引、タクシー割引、パスポート割引、シェアサイクル割引を実施し、441名の利用があつた。</li> <li>・シルバーデーの利用者数は着実に増えており、本展では1回のみの実施で211人の利用があつた(木版画展は2回の実施で322人が利用)。さらなる定着に向けて、広報活動を続けていきたい。</li> </ul>						

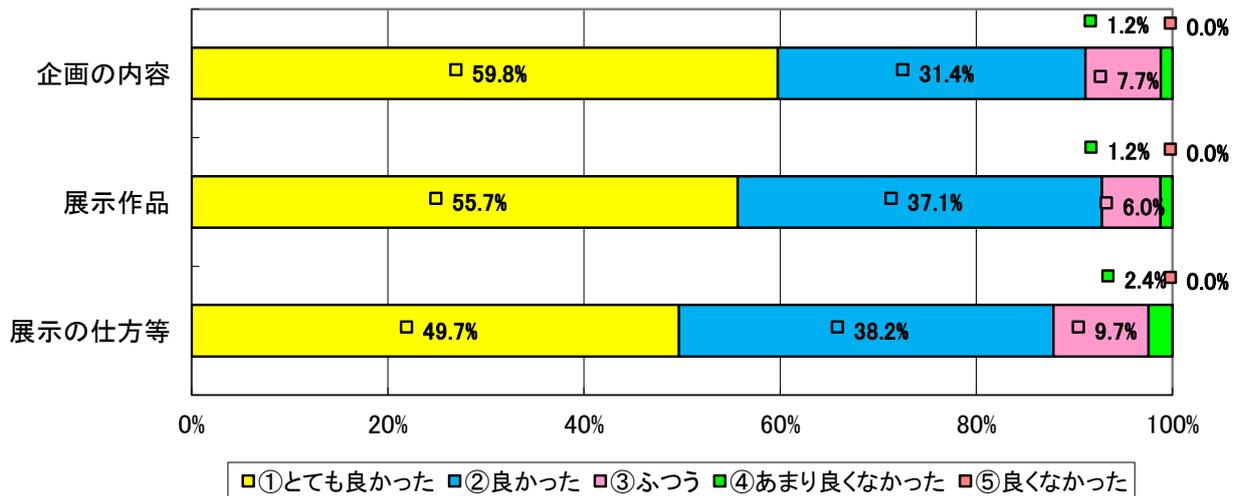
「アーティストたちの室内画」・「草間彌生」展  
アンケート集計結果

開催期間：室内画-2021年3月13日（土）～4月11日（日）  
草間彌生-2021年1月5日（火）～4月11日（日）

回答者数：169人（総入館者数：3596人 アンケート回収率：4.7%）



## ⑥ 回答者の満足度



## ⑦ 主なご意見・感想

### ◆内容について

- ・部屋というテーマが社会性にも合っていて面白い
- ・テーマ、作品ともに想像の強さを実感させ魅力的だった
- ・今の状況で見る企画展としてとても考えさせられた
- ・コレクションの魅力を十分に伝える好企画
- ・あまり見る機会のない作品があったのでとてもうれしかった
- ・あまり美術館にこない人間だがポップな作品もあり楽しめた
- ・シュールなのや刺激が強いのもあって幅広かった

### ◆会場について

- ・文字が大きくて読みやすかった
- ・床面の案内がわかりやすく、展示の間隔も見やすかった
- ・額表面の汚れが気になる
- ・描き方の説明もわかるような説明を部分的にほしい
- ・照明が少し暗かった
- ・もう少し撮影できると嬉しい

### ◆広報について

- ・ポスターがキャッチーでそのセレクトも良かった
- ・もっと宣伝してたくさんの人に見てほしい

### ◆その他

- ・冊子がしっかり作られていて驚いた。ボリュームを増やして図録でも良いと思った。
- ・シルバー料金を設けてほしい
- ・バスをもう一度運行させてほしい